久しぶりに店内で伯飯

注文したパルメジアーナ

□外出自粛を段階的に緩和している現在、６日から飲食店は制限付きで店内で食事が可能になった。

オーリャ子もこの自粛期間の４カ月間は自宅や会社で弁当を食べる生活が続いた為、久々に店内でブラジル料理を食べることに。会社近くのバールに入店し、パルメジアーナ定食を注文。

料理を待っている時間、店内を観察していると、来客も店員もあまりコロナを気にせず、久しぶりの店内を楽しむように大声で笑い話しあっている。

そんな懐かしい光景をみて、ポルトガル語が達者でないオーリャ子も「久々に店に入れて嬉しいよ」と店員に笑顔で話す。そうこうしているうちに料理が運ばれる。

まわりの陽気な雰囲気も相まって、いつもよりも食事が美味しく感じ、１５分足らずでたいらげ、思わず店員に「ＭＵＩＴＯ ＢＯＭ!（うまい！）」と一言。

コロナの懸念はまだあれど、久しぶりの店内食で、食はつくづく味だけでなく、その場の雰囲気や環境でより美味く感じるものだと実感した。（淀）